

## 【TOPIC】

## 教育研究用計算機システム導入プロジェクトチームの学長表彰

情報基盤センター教育研究用計算機システム導入プロジェクトチーム

### 1. はじめに

情報基盤センターの教育研究用計算機システム導入プロジェクトチームが、教育研究用計算機システム導入およびその後の運用に対する貢献を認められ、2012年10月18日(木)に学長表彰の「特別賞」を受賞いたしました。これも利用者および関係者の皆様方による日頃のご協力とご支援によるものと感謝しております。

- 受賞名: 2012年度学長表彰「特別賞」
- 受賞グループ名: 教育研究用計算機システム導入プロジェクトチーム
- 受賞グループ構成員名(順不同、敬称略): 田村直之(プロジェクトマネージャー)、伴好弘(サブプロジェクトマネージャー)、熊本悦子、荻野哲男、番原睦則、鳩野逸生、佐々木博史、藪本義人、北内一行、田坂和博、飯塚由子、片山瑞穂、中嶋祥子、森田由美

本稿では、受賞の推薦理由・功績について簡単に紹介いたします。

### 2. 推薦理由

候補者のグループは、全学の情報基盤となる計算機システムである神戸大学教育研究用計算機システム(KAISER2010)において、高信頼かつコストパフォーマンスの優れたシステムの構築およびその安定な運用に尽力することにより、神戸大学の教育・研究・運営の高度化および効率化について、以下のような貢献を行った。

- 神戸大学の全構成員のアカウントを管理し、教務・会計業務・図書館・KUID・認証ネットワーク等の全学的 ICT システムに対するユーザ認証基盤を提供し、またシングルサインオンシステムを導入することで、これらの全学的 ICT システムの円滑かつ効率的な運用への貢献。
- 全構成員によるメール利用、メーリングリストサービス、メーリングリスト自動生成サービス、メールサーバホスティングサービス等を実現することによる、教育・研究・運営活動の効率的な運用への貢献。
- 神戸大学の公式ホームページ、事務局ホームページを含む Web サーバを導入することによる本学の広報活動への貢献。
- 全国有数規模の約 1300 台の教育用端末の導入、CALL 教室等に設置されている 500 台以上に対する Windows 認証サービスの導入による、教育活動への貢献。
- 仮想化技術によるクラウド基盤の導入等、最新の ICT 技術を用いた信頼性およびコストパフォーマンスに優れたシステムの導入による、教育・研究・運営の高度化および効率化への貢献。

### 3. 功績

KAISER2010 の導入においては、2009年7月から、全学に対する要望調査と並行して最新の ICT 技術について調査を行い、2010年1月の要望評価を経て、2010年4月に仕様策定を行い、2011年1月に

KAISER2010 のシステムとして要望内容を実現し、その後も安定した運用を行っている。

仮想化技術によるクラウド基盤の導入、分散ストレージ技術を用いたストレージ統合の導入、高可用設計による耐障害性の実現により、50 台規模のサーバを統合し、信頼性およびコストパフォーマンスの高いシステムを実現した。

統合ユーザ管理システムを構築し、教務・会計業務・図書館・KUID 等のシステムのユーザ認証基盤を提供し、さらにシングルサインオンシステムを新たに導入することで、ユーザの利便性を大きく向上させた。統合ユーザ管理システムで管理しているユーザ数は約 3 万、申請サービス件数は約 1 万 4 千、ユーザ認証基盤システムでの認証数は一日当たり約 50 万件である。

全構成員が利用するメールサーバ、メーリングリストサーバ、メーリングリスト自動生成サーバ、メールサーバホスティングサーバ等を構築し、教育・研究・運営活動の効率を向上させた。メールの受信数は一日当たり約 10 万である。

全国有数規模の 1300 台以上の教育用端末および 50 台の教育用端末のサーバを導入し、ネットブート技術等を用いることで一元的管理を可能にし、高性能かつ信頼性の高い教育用システムを実現した。教育用端末へのログイン数は一日当たり約 3 千である。

#### 4. 参考資料

- 「お客様導入事例国立大学法人神戸大学多様化するサービスを限られた人員で提供するため仮想化統合されたクラウド基盤を構築」, 日本アイ・ビー・エム株式会社, 2012.  
(<http://www.ibm.com/jp/solutions/casestudies/20120329kobeuniversity.html>)
- 「神戸大学教育研究用計算機システム導入におけるシステム連携の取り組み」, 学術情報処理研究, No.15, pp.25-30, 2011. (<http://www.cc.mie-u.ac.jp/cc/ipc2011/jacn15/>)
- 「KAISER2010 導入報告」, 情報基盤センターMAGE40, Vol.32, 2012.  
(<http://www.istc.kobe-u.ac.jp/Documents/mage/m40>)
- 「新システム策定の経緯と概要紹介」, 情報基盤センターMAGE39, Vol.31, 2011.  
(<http://www.istc.kobe-u.ac.jp/Documents/mage/m39>)

## KAISER2010 導入プロジェクトチーム

名 前	情報基盤センター内での所属等
蛭名邦禎*	センター長・プロジェクトオーナー
尾川正美*	特命教授CISO 補佐
塚本康夫*	教育支援基盤研究部門教授
熊本悦子	教育支援基盤研究部門准教授
荻野哲男	教育支援基盤研究部門助教
田村直之	学術情報処理研究部門教授・プロジェクトマネージャー
番原睦則	学術情報処理研究部門准教授
石井裕*	学術情報処理研究部門助教
鳩野逸生	ネットワーク基盤研究部門教授
伴好弘	ネットワーク基盤研究部門准教授・サブプロジェクトマネージャー
佐々木博史	ネットワーク基盤研究部門助教
吉見賢一*	事務長
今井昭史*	事務長補佐
藪本義人	センターシステム係係長
北内一行	センターシステム係技術職員
田坂和博	センターシステム係係員
飯塚由子	センターシステム係
大崎涼子*	センターシステム係
片山瑞穂	センターシステム係
玉置絵里*	センターシステム係
中嶋祥子	センターシステム係
森田由美	センターシステム係
山尾朋子*	センターシステム係
山本瑞希*	センターシステム係

- 順不同, 敬称略. 所属・職名は受賞当時.
- \* 印の方々は, 異動・退職等のため受賞グループに含まれていません.